

趣旨

群馬県教育委員会総務課・学校人事課・義務教育課・高校教育課・総合教育センター

社会の在り方が大きく変化していく未来を生きるために必要となる非認知能力の育成を目指し、横浜創英中学・高等学校と連携を図りながら、生徒の自主性・自律性を生かした取組を実践し、新たな学びのスタイル(群馬モデル)を構築する。

目指す児童生徒の姿

自分と他者をかけがえのない存在と認識した上で、課題を自分事化し、自ら考え、判断して、責任ある行動をとる人

事業内容と計画

準備・研修

令和5年

- 横浜創英中高との連携・研究体制の構築
- 管理職・教員の理解の醸成
- カリキュラムや実施体制の検討等

実践研究・構築

令和6年～

- 具体的な取組の開始
- 取組の修正・改善
- 群馬モデルの構築

展開・発信

令和8年～

- 県内学校への横展開
- 群馬モデルの全国発信

群馬モデルによる
「始動人」を
輩出する教育

県教育委員会の指定校に係る取組

- ・県教育委員会との共同研究
- ・全国の先進事例の視察及び研究会等への参加
- ・校内研修等への講師招聘
- ・指定校の推進体制の整備
- ・横浜創英中高への教員の派遣



横浜創英中学・高等学校の取組

「考えて行動のできる人」の育成

- 自律：自ら考え、判断し、決定し、行動する
- 対話：多様性を尊重し、対話を通じて対立・ジレンマを解決する
- 創造：問題を解決するために、情報や技術等を活用し、新たな価値を生み出す

具体的な取組例

- 数学の一斉指導全廃→AIを活用した個別最適な学び・AL
- 固定担任制の廃止→全員担任制(チーム教育)
- 学校で用意した修学旅行の廃止→生徒がプランニングする
- 服装・頭髪指導の廃止→生徒・保護者の経営参画等